

災害直後の対応

【災害状況調査】テック・フォースが全国から参集。被災状況を迅速に調査。



被災状況の調査(砂防班)



被災状況の調査(河川班)



被災状況の調査(道路班)



広島市内土石流発生溪流等の
緊急溪流点検結果(一次・二次点検):テック・フォース調査

危険度 点検評価	評価の目安	溪流数		
		一次	二次	計
A評価	緊急避難体制を確保するとともに緊急的な対応が必要	70	7	77
B評価	当面は警戒避難体制を強化するものとし、状況確認の上で、必要に応じた対応が必要	38	12	50
C評価	特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意するもの	75	122	197
合計		183	141	324

注)一次点検結果:8月30日公表
二次点検結果:9月3日公表



広島市等へ土石流発生溪流等の
緊急点検結果を報告



自衛隊、消防、警察の捜索活動へ
安全確保等に関する技術的助言

災害直後の対応

大型土のう設置

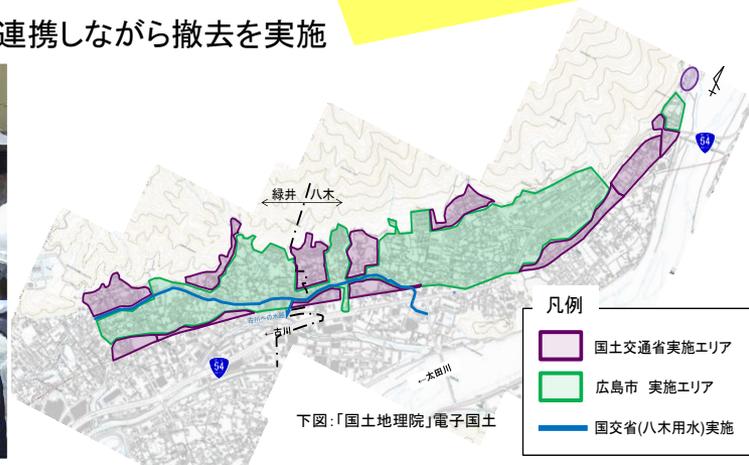
土石流が発生した溪流へ土のうを設置



土砂撤去

テック・フォース延べ740人、建設会社40社・延べ5,648人を投入

住民、ボランティア、捜索機関、市等と連携しながら撤去を実施



<八木用水の土砂撤去状況【安佐南区八木3丁目】>



撤去前



撤去中(夜間作業)



撤去後

道路等:8月24日可部東地区および、8月23日緑井・八木地区で着手。9月20日までに概成、広島市等へ引き継ぎ。
八木用水:8月25日着手、9月3日概成し9月12日引き継ぎ。沢水による湛水被害を緩和。

砂防堰堤等の緊急事業

被災が著しい溪流や緊急点検の結果を踏まえ、緊急的な対応が必要な57箇所着手。(国交省24箇所,農水省10箇所,広島県23箇所)



土砂災害対応の体制整備

太田川河川事務所内に「広島豪雨土砂災害対策推進室」、現地に「広島豪雨土砂災害対策現地推進室」を開設(9/19)



強靱ワイヤーネットの設置

砂防堰堤ができるまでの応急対策としてワイヤーネットを設置



国土交通省が事業を実施する箇所